費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	8,206,119,834	①当法人は費用進行基準を採用しております。 ②当該業務に係る損益等 一般会計 ア）損益計算書に計上した費用の額：10,489,899,642円 （研究業務費等10,489,899,642円） イ）自己収入に係る収益計上額：3,139,484,556円 （臨床医学事業収益2,911,754,043円、その他の事業収益200,058,998円、その他27,671,515円） ウ）固定資産の取得額：389,997,153円 （建物31,914,880円、機械装置39,279,600円、医療機械装置22,307,832円、工具器具備品273,327,461円、その他の有形固定資産1,950,480円、建設仮勘定21,216,900円） 東日本大震災復興特別会計 エ）損益計算書に計上した費用の額：293,282,911円 （研究業務費等293,282,911円） オ）自己収入に係る収益計上額：－ カ）固定資産の取得額：57,981,847円 （建物1,254,564円、工具器具備品56,727,283円） ③運営費交付金の振替額の積算根拠 （アの費用10,489,899,642円×70.89％※＋リース476,829,942円＋エの費用293,282,911円＝8,206,119,834円）） ※収支予算における運営費交付金収入と自己収入の割合により、経費相当額を運営費交付金収益に計上することとしている。
	資産見返運営費交付金	447,979,000	
	資本剰余金	－	
	計	8,654,098,834	
会計基準第81第3項による振替額		－	
合計		8,654,098,834	

(3)　運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成23年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	－	－（業務達成基準を採用した業務はしておりません）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	－	－（期間進行基準を採用した業務はしておりません）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	3,321,566	○当法人は費用進行基準を採用しております。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、繰越によるものであります。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度以降において、収益化する予定であります。
	計	3,321,566	
平成24年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	－	－（業務達成基準を採用した業務はしておりません）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	－	－（期間進行基準を採用した業務はしておりません）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	70,218,461	○当法人は費用進行基準を採用しております。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、繰越によるものであります。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度以降において、収益化する予定であります。
	計	70,218,461	
	業務達成基準を採用した業務に係る分	－	－（業務達成基準を採用した業務はしておりません）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	－	－（期間進行基準を採用した業務はしておりません）